

# 府高教 ニュース

速報 No. 6

2016年11月17日

発行所:大阪府立高等学校教職員組合  
〒543-0021

大阪市天王寺区東高津町7-11

大阪府教育会館7階 707号室

電話:06-6768-2106 FAX:6768-1675

e-メール:osakafko@jn3.so-net.ne.jp

ホームページ:http://www.fukokyo.org/

## 道理のない高校つぶしは撤回せよ！

大阪の高校を守る会

# 1万1,972名分の署名を提出

—府教委18日に教育委員会会議を開催—

11月16日、大阪の高校を守る会は、高校つぶし撤回を求める府民署名の第一次分として、1万1972名の署名を府教委に提出しました。提出行動には、西淀川高校、大正高校、咲洲高校の保護者、卒業生、地域住民など10名が参加し、廃校反対の切実な思いや、府条例に基づく高校つぶしの道理のなさなどを訴えました。府教育庁再編整備課の土佐課長が署名を受け取り「持ち帰って教育委員に伝える」と述べました。

府教委は、9月5日に発表した「再編整備実施対象校案」について、明日18日の教育委員会会議で決定しようとしています。しかし、9月府議会の議論でも明らかになったように、セーフティネットを含めた募集を行いながら「定員に満たない」ことを理由に高校をつぶすことには道理がありません。また、学校の適正規模を「1学年6〜8クラス」とすることに何の根拠もありません。「教育は未来への投資」（松井知事施政方針演説）というのであれば、高校をつぶすのではなく、全国一大規模な学校規模を縮小し、エンパワメントスクールだけでなくすべての府立高校で35人学級を実施するべきです。

### 【提出行動での発言より】

#### ◆西淀川高校保護者・郡山さん

来年4月に募集停止となったとき教育環境が悪くならないか不安だ。食堂が維持されるのか？「一人一人とことん面倒見る」教育方針を維持できる教職員数が確保されるのか？府教委は西淀川と北淀の実践をモデルにエンパワメントスクールを作ったと説明したが、それなら何故モデルの方をつぶすのか？勉強に自身がないう子が35人学級のエンパワを受け、不合格になれば40人学級の一般入試校や2次募集校を受ける。最後の受け皿の学校が40人に満たなければつぶすというのは理解できない。また、2つの学校を粘土をくつつけるように統合するのはやめて欲しい。松井知事は昨年、「(定員割れ校では)生徒が成長しない」と言った。入学当初自分に自信が持てなかった息子は今年3年になり就職も決まり文化祭では全身で太鼓を打ち鳴らし感動させてくれた。担任にお礼を言い思わず手を取り合って泣いてしまった。知事の言葉は「定員割れ校の生徒は3年間成長しない」と言ったのと同じで、在校生や保護者や関係者や沢山の人の心を傷つけた。今また「土人」発言のコメントで多くの人の心を傷つけている。知事こそ成長していかないのではないか。人として親としてまだ知事を許せていない。

#### ◆大正高校卒業生・芳村さん

大正区で生まれ育って大正高校の1期生だ。大正区では公立保育所7カ所が2カ所に減らされ、公立幼稚園も1つになり、その上高校も減らされようとしている。赤ちゃんから高校生まで公立の施設がどんどん減らされている。府や市から見放されたと感じる。子育ては自己責任で何とかしろと言われてる気がする。少子化の中で少ない子どもたちを大切に育てることが求められている。そのためには身近な所に公設の施設を残す必要がある。廃校を撤回して欲しい。

#### ◆咲洲高校保護者・奥野さん

2年間閉校問題で動いて来て、教育委員会とも話をして来たが、率直に言って、どこを向いて政策を行っているのか疑問だ。学校を減らす、子育てしようと思えば必ず必要な保育園を減らす、おかしいことばかりだ。大阪で働く人を減らすつもりなのか？そして予算がないと、お金のことがばかりに目が向いている。困っている人やこれから世に出る子どもたちに目が向いていない。「高校をなくさないで下さい」「少人数学級にして下さい」など表面に表れてくるのはそういう問題だが、その前に、行政の役割として、本来の府民・市民のための仕事をして欲しいというのが一番の問題だ。